【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【公開番号】特開2005-170043(P2005-170043A)
【公開日】平成17年6月30日(2005.6.30)
【年通号数】公開・登録公報2005-025
【出願番号】特願2004-348532(P2004-348532)
【国際特許分類】
***Ｂ４１Ｍ　5/382　(2006.01)***
***Ｇ０２Ｂ　5/20　(2006.01)***
***Ｂ４１Ｍ　5/40　(2006.01)***
***Ｂ４１Ｍ　5/41　(2006.01)***
***Ｂ４１Ｍ　5/392　(2006.01)***
***Ｂ４１Ｍ　5/50　(2006.01)***
***Ｂ４１Ｍ　5/52　(2006.01)***
***Ｂ４１Ｍ　5/46　(2006.01)***
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｍ　5/26　Ａ
Ｇ０２Ｂ　5/20　１０１
Ｂ４１Ｍ　5/26　Ｂ
Ｂ４１Ｍ　5/26　Ｊ
Ｂ４１Ｍ　5/26　Ｈ
Ｂ４１Ｍ　5/26　Ｑ

【手続補正書】
【提出日】平成19年12月3日(2007.12.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
画像形成ドナーからレシーバに、結合剤、並びに、顔料粒子を含む画像形成材料を含有した画像形成層を熱転写して画像形成材料のパターンをレシーバ上に形成する方法であって、画像形成材料をレシーバに熱転写する前に、透明な無色のテクスチャリング材料をテクスチャリングドナーからレシーバに熱転写することを含む改良を特徴とする方法。
【請求項２】
熱質量転写着色剤ドナーから基質に顔料着色剤を熱質量転写して少なくとも１つのカラーパターンを基質上に形成することを含むカラーフィルタ要素の製造方法であって、顔料着色剤を熱質量転写する前に、透明な無色のテクスチャリング材料を熱質量転写テクスチャリングドナーから基質に熱質量転写することを含む改良を特徴とする方法。
【請求項３】
ウィンドウを画定する不透明なマスクおよびレーザ手段により転写されてマスクの第１部分をカバーする結合剤および画像形成材料を含有する着色剤層を支持する透明な基質ならびに複数のウィンドウを順次含むカラーフィルタであって、カバーされたマスクの第１部分における第２部分および着色剤層との間にレーザ手段により転写された透明な無色のテクスチャリング材料が挿入されたことを含む改良を特徴とするカラーフィルタ。
【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１３８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１３８】
（事例の評価）
前記事例は、欠陥に対し、目視、および、２０倍の拡大鏡により評価することができる。欠陥の数は、ゼロ、僅かな数（１０未満、使用を防げるほど極端には無い）、多少の数（１０～５０の欠陥、または、１～９の使用を防げる欠陥）、および、多数（５０を超える欠陥、または、１０以上の使用を妨げる欠陥）と分類することができる。比較事例は、多少の数または多数の欠陥を示し、本発明の事例は僅かな数またはゼロの欠陥を示すことが見込まれる。
本発明は以下の実施の態様を含むものである。
１．画像形成ドナーからレシーバに、結合剤、並びに、顔料粒子を含む画像形成材料を含有した画像形成層を熱転写して画像形成材料のパターンをレシーバ上に形成する方法であって、画像形成材料をレシーバに熱転写する前に、透明な無色のテクスチャリング材料をテクスチャリングドナーからレシーバに熱転写することを含む改良を特徴とする方法。
２．前記画像形成材料は、顔料を含むことを特徴とする前記１に記載の方法。
３．前記レシーバは、ガラス基質を含むことを特徴とする前記１に記載の方法。
４．熱質量転写着色剤ドナーから基質に顔料着色剤を熱質量転写して少なくとも１つのカラーパターンを基質上に形成することを含むカラーフィルタ要素の製造方法であって、顔料着色剤を熱質量転写する前に、透明な無色のテクスチャリング材料を熱質量転写テクスチャリングドナーから基質に熱質量転写することを含む改良を特徴とする方法。
５．画像形成ドナーから基質にレーザを用いて熱転写することを含むカラーフィルタ要素の製造方法であって、着色剤を熱質量転写する前に、透明な無色のテクスチャリング材料をテクスチャリングドナーから基質にレーザを用いて熱転写することを含む改良を特徴とする方法。
６．透明な基質、ならびに、不透明なマスク側面および該マスクにより画定されたウィンドウを有する不透明なマスクを含有する多層の基質を含むカラーフィルタ要素の製造方法において、該ウィンドウの一部を覆うように画像形成ドナーから着色剤を前記不透明なマスク側面上にレーザを用いて熱転写することを含むものであって、着色剤を転写する前に、透明な無色のテクスチャリング材料の領域をテクスチャリングドナーから多層の基質の不透明なマスク片面上にレーザを用いて熱転写し該領域が不透明なマスク部分のみをカバーすることを含む改良を特徴とする方法。
７．不透明なマスク側面および該マスクにより画定されたウィンドウを有する部分的に不透明な基質を含むカラーフィルタ要素の製造方法において、該ウィンドウ部分を覆うように着色剤を画像形成ドナーから該基質にレーザを用いて熱転写することを含むものであって、着色剤を転写する前に、透明な無色のテクスチャリング材料の領域をテクスチャリングドナーから該基質にレーザを用いて熱転写し該領域が不透明なマスク部分ならびに一つないし複数のウィンドウ部分をカバーし全てのウィンドウを完全にカバーしないことを含む改良を特徴とする方法。
８．ウィンドウを画定する不透明なマスクおよびレーザ手段により転写されてマスクの第１部分をカバーする結合剤および画像形成材料を含有する着色剤層を支持する透明な基質ならびに複数のウィンドウを順次含むカラーフィルタであって、カバーされたマスクの第１部分における第２部分および着色剤層との間にレーザ手段により転写された透明な無色のテクスチャリング材料が挿入されたことを含む改良を特徴とするカラーフィルタ。